

当院 CAP チームにおける新たな虐待分類の導入と虐待のリスク因子の関連性の解析

1. 臨床研究について

九州大学病院医療連携センターでは、最適な支援を患者さんやそのご家族へ提供するため、支援の質を研究し、研究結果を臨床の現場に提供できるように努めています。その一つとして、過去にこども安全チーム（CAP）で支援した患者さんを対象に支援が必要となった背景のその要因に関する「臨床研究」を行っています。

今回の研究の実施にあたっては、九州大学医系地区部局観察研究倫理審査委員会の審査を経て、研究機関の長より許可を受けています。この研究が許可されている期間は、2028年3月31日までです。

2. 研究の目的や意義について

近年、さまざまな問題や困難を抱える子どもや家庭が多くなってきていることが明らかになってきました。日本国内では、2000年に「児童虐待の防止等に関する法律」という法律が作られ、子どもたちを守るための仕組みが整えられてきましたが、それでもなお、支援を必要とする家庭は増えています。

これまでの研究から、保護者の心や体の健康状態、家庭の問題、あるいは子ども自身の持つ個性などが複雑に関係しあって、支援が必要になることがあると報告されています。しかし、これらの要因が具体的にどのように結びつき、どのような支援が役に立つのかについては、まだはっきりとは分かっていません。

大学病院には医師や看護師、ソーシャルワーカー等の専門家が協力して子どもの権利と安全を守るための「こども安全チーム」を設置しています。このチームが、これまで支援してきたお子さんとご家族にご協力いただき、専門家の支援が必要になった背景や、そのような困難な状況につながる可能性のある要因がどのように関係しているのかを詳しく調べる研究を計画しました。

この研究を進めることで、支援を必要としている状況をより早い段階で見つけ出し、子どもたちとご家族に対してより良い支援を提供する方法や、注意すべき要因が明らかになることが期待されます。その結果は、子どもたちの安全に関わる専門家が、子どもたちやご家族を支援する際に役立つ知識となります。そして、特に手厚い支援が必要かもしれないお子さんを早期に発見し、子どもたちの安全と権利を守ることを目指しています。

3. 研究の対象者について

九州大学病院こども安全チームにおいて2022年4月1日から2025年3月31日までに相談を受けた患者さん193名を対象としています。

研究の対象者となることを希望されない方又は研究対象者のご家族等の代理人の方は、事務局までご連絡ください。

4. 研究の方法について

この研究を行う際は、カルテより以下の情報を取得します。取得した情報は、九州大学病院医療連携センターで解析を行います。

[取得する情報]

年齢、性別、疾患群、世帯構成、児童の就園・就学状況、第1子であるか、きょうだいの数、発達障害の有無、不登校歴の有無、要保護(要支援)児童対策地域協議会の対象の有無、行政の介入歴の有無、福祉サービスの利用の有無、訪問看護の利用の有無、予防接種の問題の有無、乳幼児健診の問題の有無、保健師への非協力的な情報の有無、支援が必要となった背景の分類、グレード(支援が必要となった問題の程度)、主な連携先、当院からの児童相談所へ通告の有無、過去の通告歴の有無

[利用又は提供を開始する予定日]

研究許可日以降

5. 研究への参加を希望されない場合

この研究への参加を希望されない場合は、遠慮なく下記の相談窓口にご連絡ください。

研究への参加をお断りになったとしても、あなたが病院で受ける診察や治療のことで、不利になることは一切ありませんので、ご安心ください。

その場合、あなたからご提供いただいた情報は消されて、それ以降はこの研究の目的で使われることはありません。

ただし、もし研究の成果がすでに論文（研究結果をまとめた報告書）などで発表された後だった場合には、あなたの情報を完全に消すことが難しい場合があることをご了承ください。

6. 個人情報の取扱いについて

この研究で皆さんの診療録（カルテ）の情報を使う場合には、お名前の代わりに研究用の特別な番号を付けています。これにより、情報が誰のものであるかすぐには分からないようにします。

皆さんの実際のお名前と研究用の番号を結びつけるデータには、パスワードを設定し、九州大学病院の医療連携センター内にある、インターネットには接続していない安全なパソコンに保存します。このパソコンが置かれている部屋は、医療連携センターのスタッフだけが入れるように管理されており、関係のない人が勝手に入ったり、情報を見たりすることはできません。

また、この研究の成果を、専門家の集まる学会で発表したり、それをもとに特許（新しい発明を守る権利）などを申請したりする場合でも、皆さんの誰かのことだと特定できるような情報を使うことは絶対にありません。

この研究で得られた情報は、九州大学病院 医療連携センターの責任者である中川 尚志 医師のもとで、大切に管理します。

ご本人やご家族などから「自分の情報がどうなっているか見たい」という希望があった場合には、それをお見せすることができます。情報の開示を希望される方は、相談窓口までご連絡ください。

7. 試料や情報の保管等について

[情報について]

この研究で得られた皆さんの診療録の情報などは、基本的に、この研究のためだけに使います。

研究が終わった後は、九州大学病院の医療連携センターで、責任者である中川 尚志 医師のもと、10年間大切に保管します。その後、研究用の番号などを消去し、誰の情報か分からなくした上で、きちん

1 3. 研究の実施体制について

この研究は以下の体制で実施します。

研究実施場所	九州大学病院 医療連携センター 九州大学病院 救命救急センター 九州大学大学院医学研究院 高度救命・災害医学分野
研究責任者	九州大学大学院医学研究院 高度救命・災害医学分野 助教 賀来 典之
研究分担者	九州大学病院 医療連携センター 社会福祉士 岡村 有加里 九州大学病院 医療器材サプライセンター 助教 東 加奈子 九州大学大学院医学研究院 高度救命・災害医学分野 助教 水口 壮一 九州大学病院 救命救急センター 助教 松岡 若利 九州大学病院 医療連携センター 看護師 出来谷 なおみ 九州大学病院 医療連携センター 社会福祉士 土井 遼子

1 4. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、下記担当者までご連絡ください。

事務局 (相談窓口)	担当者：九州大学病院 医療連携センター 社会福祉士 岡村 有加里 連絡先：〔TEL〕 092-642-5167 〔FAX〕 092-642-5224 メールアドレス：okamura.yukari.925@m.kyushu-u.ac.jp
---------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【留意事項】

本研究は九州大学医系地区部局観察研究倫理審査委員会において審査・承認後、以下の研究機関の長（試料・情報の管理について責任を有する者）の許可のもと、実施するものです。

九州大学病院長 中村 雅史